I-O DATA

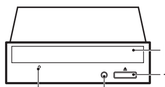
MANU000105

取　扱　説　明　書

内蔵ブルーレイディスクドライブ
BRD-S16PX

「ハードウェア保証書」と「ハードウェア保証規定」は本製品の箱に印刷しています。
本製品のアフターサービスを受ける場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称・機能



トレイ

イジェクトボタン
押すとトレイが開閉します。

アクセスランプ
読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

緊急イジェクトホール
トレイが開かなくなった場合に使用します（針金などを挿します）。
※ 実際の商品と位置が異なる場合があります。

▼背面



Serial ATAコネクター
パソコンのSerial ATAケーブルをつなぎます。

Serial ATA電源コネクター
Serial ATA電源ケーブルをつなぎます。

底面に記載のシリアル番号（S/N）をメモしてください

シリアル番号（S/N）はユーザー登録時に必要です。またソフトウェアのダウンロードにはユーザー登録が必要です。
シリアル番号（S/N）は本製品に貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

【ユーザー登録はこちら】…https://ioportal.iodata.jp/

ハードウェア仕様

インターフェイス	Serial ATA
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプ（オートローディング）
書き込みエラー回避機能	搭載
CPRM対応	○（読み込み/書き込み）
電源	DC +5V±5%、+12V±10%
使用温度範囲	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146（W）×175（D）×41.3（H）mm（ベゼルを除く）
質量（本体のみ）	約740g
添付品	取り付けネジ（4個）、取扱説明書

使用上のご注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされていると、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 動作環境、推奨メディアの情報は、弊社ホームページをご確認ください。
- 推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
- 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、すべての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- 推奨メディアを使用し、動作環境を満たした場合でも、メディアの品質や環境によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- 本製品で書き込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- 本製品で作成したBD・DVDビデオは、ドライブ/プレーヤー/ゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 本製品を長時間使用した場合は、いったんメディアを取り出し、数分おいてから使用してください。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- メディアの取り扱いについて、以下をお守りください。
  ・メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らず、両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
  ・メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
  ・ひびの入ったメディアや反りかえってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
  ・メディアに異物がついていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。
- レンズには触れないでください。
  音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。
- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
- お手入れ方法
  本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源ケーブルを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
  ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
  ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

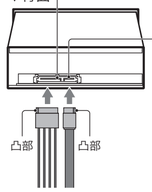
つなぎ方

1 パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます

2 パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外します
※ パソコンの取扱説明書をご参照ください。

3 本製品を取り付けます

▼背面



パソコンのSerial ATA電源ケーブル、Serial ATAケーブルを使用します

本製品にはSerial ATA電源ケーブルおよびSerial ATAケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルおよびSerial ATAケーブルがない場合は別途ご用意ください。

4 添付のネジで本製品を固定します
※ パソコンによりネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

5 パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを取り付け、パソコンの電源ケーブルなどを元に戻します

6 Windowsを起動し、[PC]または[コンピューター]を開き、アイコンの追加を確認します
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、[はい]または[続行]をクリックしてください。

例 Windows 10、メディア未挿入、Gドライブの場合



※ ドライブ文字（番号）は環境により異なります。
※ ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。
- ケーブルの接続が正しくおこなわれていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

アイコンが追加されていれば、本製品をお使いいただけます。ソフトウェアを利用する場合は、右記「必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する」をご覧ください。

必要に応じてダウンロードソフトウェアを利用する

1. ダウンロードするソフトウェアを確認する

BD/DVDビデオを作りたい　Roxio Creator

以下の製作がおこなえます。
・ブルーレイディスクに映像ファイルを書き込む
・DVDビデオを作成する
・デジタルビデオカメラから直接レコーディングする

再生したい　WinDVD

以下の映像を再生できます。
・作成したオリジナルブルーレイディスクやDVDの映像
・市販のブルーレイディスクやDVDの映像

データを保存したい　B's Recorder

簡単な操作でデータディスクや音楽CDなどを作成できます。

ハイレゾ再生したい　CurioSound for I-O DATA

ハイレゾコンテンツの再生や、CD音質音源をハイレゾ相当で高音質再生することができます。
※ ハイレゾ保存機能およびエフェクト（イコライザー）機能は、利用開始から2カ月間、お楽しみいただけます。なお、ハイレゾ再生は2か月後もご利用いただけます。
※ 利用期限のない製品版「CurioSound」を特別価格にてご購入いただけます（本ソフトウェア上から優待販売ページに進むことができます）。

ソフトウェアをダウンロードする場合は、
下記「2.IOPortalに本製品を登録する」へお進みください。
※ すでに上記ソフトウェアがインストールされている場合は、先にアンインストールしてからダウンロードした各ソフトウェアをインストールしてください。

2.IOPortalに本製品を登録する

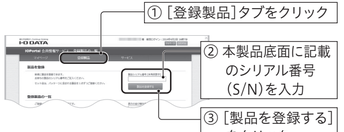
1 ① Webブラウザーより **https://ioportal.iodata.jp/** にアクセス



初めてご利用いただく場合は、新規会員登録をお願いします

① [新規会員登録へ]ボタンをクリック
② メールアドレスを入力し、[この内容で送信する]をクリック
⇒ 会員登録用URLのメールが届きます。
届いたメール内にあるURLをクリックし、会員登録をおこなってください。会員登録後は、マイページにログインします。

2 ① [登録製品]タブをクリック



以上で本製品の登録は完了です。次に右記「3.ソフトウェアをダウンロードする」へお進みください。

3.ソフトウェアをダウンロードする

1



2



3



⇒ ソフトウェアがダウンロードされます。

4



シリアル番号（プロダクトキー）はインストール時または初回起動時に必要です

シリアル番号（プロダクトキー）はインストール中またはソフトウェアの初回起動時に入力を求められます。シリアル番号（プロダクトキー）は以下のいずれかの方法で確認することができます。
・ソフトウェアをダウンロードすると送付されるメール
・上記手順4の画面

※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号（S/N）とは異なります。

5 エクスプローラーなどからダウンロードしたファイルのある場所（ダウンロードフォルダー等）を開く

6 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、解凍する
- Roxio Creatorの場合…[roxiocreatorbdXXX(.exe)]ファイル
- WinDVDの場合　…[windvdXXX(.exe)]ファイル
- B's Recorderの場合　…[bsrecorderXXX(.exe)]ファイル
- CurioSound for I-O DATAの場合…[setup(.exe)]ファイル

（"X"には数字が入ります）

⇒ 自動的にインストールが始まります。
画面の指示にしたがってインストールします。
※ 自動的にインストールが始まらない場合は、デスクトップ上に追加されたフォルダー→[Setup(.exe)]または[インストールする(.exe)]ファイルの順にダブルクリックします。
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックします。

インストール中または初回起動時に、シリアル番号やプロダクトキーの入力画面が表示された場合

上記手順4でメモした「シリアル番号」または「プロダクトキー」を入力します。シリアル番号（プロダクトキー）はソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールでも確認することができます。
※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号（S/N）とは異なります。

以上でインストールは完了です。

ソフトウェアの使い方についてはヘルプをご覧ください

本紙では、ソフトウェアの注意事項や使用例を紹介しています。
各ソフトウェアの詳しい使い方は、各ソフトウェアをインストール後、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
※ B's Recorderの場合、初回起動時にソースネクスト社のユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録をおこなってご使用ください。

「画面で見るマニュアル」でもソフトウェアの使用例を紹介しています

本紙では、ソフトウェアの注意事項や使用例を紹介しています。弊社Webページよりご覧ください。

https://www.iodata.jp/r/4959

AACSキーについて

ブルーレイディスクやAVCREC では、著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために、著作権保護技術『AACS』を採用しています。
ブルーレイディスクやAVCRECを継続的にお使いいただくために、定期的に『AACSキー』を更新してください。
『AACSキー』は再生ソフトウェアからのメッセージにしたがい更新します（インターネット接続環境が必要です）。

更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの再生ができなくなる可能性があります。（著作権保護されていないコンテンツの再生は可能です）

今後、AACSキーの提供についての情報は、弊社サポートページにてお知らせいたします。

https://www.iodata.jp/support/

【使用例】映像を保存しよう　Roxio Creator

例：ハードディスクに保存したAVCHD映像をBlu-rayに保存する場合

1

Roxio Creator Premier BDのアイコンをダブルクリック

2

［DVDを作成］をクリック

3 本製品にメディアを入れる

4

［Blu-ray］をクリック

5


① タイトルを入力

② ［新しいムービーを追加］をクリック

6

ファイルを選択

（ファイルを複数選択した場合）


① 選択

② ［OK］をクリック

7

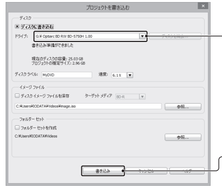

選択したファイルの表示を確認

8 ① ［メニューのスタイルを変更］をクリック



9


をクリック

10

① 本製品を選択

② ［書き込み］をクリック

11 書き込みが終わると、完了画面が表示されます。

以上で、完了です。

Roxio Creator、WinDVD を使用する際のご注意

- 本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証をいたしかねます。
- 以下の場合にインターネット接続環境が必要です。
  ・WinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際
  ・CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生する場合※
- CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合※は、以下の環境を満たしている必要があります。
  ≪グラフィックアクセラレータボード≫
  ・最新のドライバがインストールされていること
  ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMI、DisplayPortコネクターを搭載
  ≪ディスプレイ≫
  ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMI、DisplayPortコネクターを搭載

※操作手順については、本製品の「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
https://www.iodata.jp/r/4959

【使用例】再生しよう　WinDVD

1


WinDVDのアイコンをダブルクリック

2 本製品にメディアを入れる

3 自動で再生されます。

以上で、完了です。
左記【Roxio Creator、WinDVDを使用する際のご注意】もあわせてご確認ください。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生するには

認証手続きが必要です。
詳しくは「画面で見るマニュアル」内、「再生する（WinDVD）」をご覧ください（弊社サポートライブラリよりご覧ください）。

https://www.iodata.jp/r/4959

【使用例】データを保存しよう　B's Recorder

1

B's Recorderのアイコンをダブルクリック

2

［データCD/DVD］をクリック

3 本製品にメディアを入れる

4


① コピーするデータの場所を選択

② コピーするデータをドラッグ&ドロップ

ドライブが複数ある場合に選択

③ 選び終えたら［開始］をクリック

5

［開始］をクリック

6 書き込みが終わると、完了画面が表示されます。

以上で、完了です。

B's Recorder を使用する際のご注意

- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みをおこなうと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder」を起動し、補助メニューを閉じた後、［メディア］メニューの［情報］から使用済み容量をご確認ください。エクスプローラの［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択すると表示される“使用領域”ではOSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- 2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みをおこなった場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 一度でも書き込みに失敗したBD-R/DVD+R/DVD-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したBD-RE/DVD+RW/DVD-RW/DVD-RAM/CD-RWメディアは「B's Recorder」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
- BD-RE/DVD+RW/DVD-RW/DVD-RAM、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みをおこなったライティングソフトウェアを使用してください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みをおこなう場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 「B's Recorder」が対応していないBD/DVD/CDドライブの場合は、書き込み先としてご利用いただくことができません。本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
- 音楽データを書き込んだCD-R/CD-RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/CD-RWメディアに対応している必要があります。

アフターサービス

重要
- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

ドライブ本体について困ったら…

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶https://www.iodata.jp/support/
① 「Q&A よくあるご質問」を参照
② 最新のソフトウェアをダウンロード

2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶**050-3116-3020**
受付時間 9：00～17：00 月～金曜日
（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）
メール ▶https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm

ソフトウェアの使い方で困ったら…

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

① ソフトウェアを起動し、ヘルプを確認する
② 各社のWebページでサポート情報を見る

2 それでも解決できない場合は、各ソフトウェアメーカーへ

ソフトウェア	お問い合わせ先
Roxio Creator	コーレルサポートセンター 電話 **0570-003-002** ※受付時間 10:00～12:00/13:30～17:30 月～金曜日（土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く） ※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号はソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールか、IOPortalのマイページにて確認できます。 メール http://www.corel.jp/support/ ※上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。
WinDVD	
B's Recorder	ソースネクスト株式会社 メール http://www.sourcenext.info/ ※上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください（ユーザー登録が必要です）。
CurioSound for I-O DATA	株式会社デジオン カスタマーサポート メール ds-support@digion.com インターネット http://support.digion.com/cs/digionsoundx/

修理を依頼する方法　保証期間 1 年間

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書など **購入日**を示すもの または保証書

＋

メモ
・名前・住所
・TEL / FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛
※厳重に梱包してください。
　弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。
▶https://www.iodata.jp/support/after/

【ユーザー登録はこちら】…https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

【リージョンコード】
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

【著作権】
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償金を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

【CurioSound for I-O DATAについて】
CurioSound for I-O DATAは、やむを得ない事情などにより、お客様へ事前又は事後に告知（当社サイトへの掲載）のうえ、無料ダウンロード提供やサポート対応等のサービスの一部又は全部を変更・サービスの提供を終了させていただく場合がございます。予めご了承ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。